

色彩活用パーソナルカラー検定2級 認定講師 になるまでの流れ



応募条件

講師認定講座受講には、以下の4つの条件全てを満たしている必要があります。

- ① J-color の会員（正会員もしくは賛助会員）である。
- ② J-color 検定の主旨を理解している。
- ③ J-color の色彩活用パーソナルカラー検定2級以上の有資格者である。
- ④ パーソナルカラーのドレーブによる診断（コンサルティング）を行ったことがある。（※）

※【④の条件について】

ドレーブを使った診断を「受けたことがある」というものではなく、パーソナルカラーのドレーブを使った診断を自分で行い、クライアントにコーディネート提案等のアドバイスを「行ったことがある」という条件です。
ドレービング診断の経験がない方は、色彩関連会社・スクールでその手法を学び、経験を積んでください。

応募条件はクリアしているので、
早速応募申込！

応募条件はクリアしているし、
パーソナルカラーのセミナーや講座の
実施経験もあるが、
より説明力をアップさせたい！

応募条件はクリアしているが、
パーソナルカラーのセミナーや講座の
実施経験がないので、
講師としての活動にやや不安がある…

パーソナルカラーのセミナーを開くための講座

3級・2級のテキストの内容を自分の言葉で説明できる、さらに、相手に合わせた
プラスαの提案についても学ぶことができる講座です。

応募書類作成・講師認定講座でのロールプレイングにも役立つ内容です。

- 三属性・4シーズンの説明方法
- コラージュ作成と活用方法
- プロファイリングの活用方法
- 色素チェックの説明と実施方法
- ドレービングの色の組み合わせと使い方
- ロールプレイング

⇒講座の詳細はこちら



応募

J-color HPより応募申込をしてください。その後、応募に必要な書類（ひな形）をメールでお送りします。
応募書類を作成の上、J-color 宛にお送りください。



書類審査

提出いただいた書類を審査し、結果をご連絡いたします。
審査通過の場合は、講師認定講座受講可能となります。

通過



講師認定講座 受講

J-color の認定講師としての心構えや活動方法などを学びます。

- カリキュラム（検定対策講座）の立て方・教え方
- 自分ブランディングの手法
- 講座企画方法
- ロールプレイング



最終審査

講師認定講座で講師から受けたアドバイスを基にレポートを作成・提出いただき、最終審査を行います。

通過

色彩活用パーソナルカラー検定2級 認定講師